

私たちの道

—— MC WAY を感じる ——

《若手時代の意識》と《いま意識していること》

1. 若手時代の意識

- ・コンサルタント、会計士としての知識を身に着け、その知識でお客さまにどのような支援ができるかを考えている
→「自分の知識」ありきでの考え方
- ・お客さまに「正解」を提供することを考えている
→正解とは「自分が考える正解」。お客さまにとって、ほんとうの正解なのか？
- ・MC の他部門（カンパニーの前の時代）の業務を紹介しようと考えている
→ほかのサービスを紹介する、という立場

「I（アイ）視点」が強い

2. いま意識していること

- ・「経営者の右腕」として、「世界一の経営パートナー」としてなにをするか？
→自分の「ありたい姿」を強くイメージする
→ありたい姿から「行動」が生まれてくる
→実際にそうであるかどうかについて悩まない（こころの不要なブレーキ）。ありたい姿を求め、行動し続ける
- ・お客さまの「期待」を「聴く（傾聴）」
→独りよがりの正解にまどわされない
→おそれずに、お客さまの期待を聴いて、それにこたえ続けていく
→お客さまの「気づいていない期待」にも目を向ける。「私が社長だったらこうします」といいきる。
- ・上記の姿勢より、自然と、「お客さまにとって最高の支援」を考えるようになる
→「紹介」という意識が低くなる。100% 自責（当事者意識）
→「自前主義」にとらわれなくなる

「You」視点 ➡ 「They（社会貢献）」視点 「We（我々は何ができるか）」視点 へ